

旧千代田保健所廻町庁舎跡地利用検討協議会（第1回） 開催要旨

1. 日 時

平成29年11月21日（火） 午後7時～午後8時45分

2. 出席者

委 員 13名（外部委員3名欠席）
傍聴者 16名

3. 内 容

- 1) 協議会設置及び委員の委嘱
- 2) 正副会長の選出
- 3) 議事
 - ①仮住宅の規模
 - ②仮住宅の活用方法
 - ③地元からの要望事項
- 4) 傍聴者からの意見

4. 議事要旨

1) 仮住宅の規模について

- ①先日仮住宅の設置場所を確認したが、良いロケーションである。5戸を減らすよりも有効に使っていただきたい。この地域は今後も人口が増えるので、最初から使えるようにしてはどうか。
- ②容積率はどの程度使っているのか。平河町だけでなく四番町の施設も、容積率を目一杯使うべきである。高さが問題となることもあるが、今回の計画では窓が相對しないなどの配慮がされていると思う。
- ③この地域の人口の変動は押さえているか。（事務局から、5年前と比べて高齢者や子どもが増えている旨を報告）
- ④跡地利用、高齢者やお子さんが増えているということであれば、これらの方が安心して暮らせる施設を希望する。神田連雀にシルバー人材で行っているが、人手が足りない所以他区からも来てもらってる。施設のワーカーさんの住まいがあれば千代田区の中で見守ってもらえる。
- ⑤二番町にできる高齢者施設のワーカーさんに住んでもらうということも考えられる。
- ⑥子どもが増えているということであれば、永田町にできた企業内保育所のような施設も考えられる。
→12階として有効利用し、5戸分について、職務住宅などの住宅として活用していく

2) 仮住宅の活用方法について

- ①ワーカーの手が足りない。ワーカー家族が住まなくてもシェア住居にしてもよい。高齢者が増えていくなかで、給料だけでなく生活のクオリティを上げることが必要だ。5戸分が

余るのであれば、初めからそのような計画にするとよい。

②り災された方、職員住宅、保育士、防災等にかける人の住まいは神田には多いが麴町には少ない。

③麴町地区ではマンション建替えの際の仮移転先の確保も切実な問題となっている。

④仮住宅で余った住戸の活用を早急に決めなければいけないことはわかる。急激に人が増えすぎていて、4年後・5年後の需要はわからない。

→すべての住宅を盛り込むことはできない。4・5年先に何がニーズとなるのか、どのような住宅が必要なのかデータも含め事務局で整理し、プライオリティをはっきりさせていくことが必要である。

3) 地元からの要望事項について

平河町二丁目町会から、永田町駅出口4における混雑や危険性、バリアフリー化されていないといった点の問題提起。バリアフリー化された出入口の設置を、仮住宅の整備にあわせ設置できるよう協議会として区に要望していく。

→事務局として検討していく。

4) まとめ

①階数の件について、12階建とする。残った5戸については、職務に携わる方に貸せるようにしていく。

②仮住宅の後の利用について、職務を含めた区の職員、保育士等々。高齢者を含めた住宅に利活用し、優先順位を決めていく。

③バリアフリー化された地下鉄出入口の新設を求めていく。

5) 傍聴者からの意見

①公共事業の評議をする構成体の大部分が町会であり、委員のリストも公開されていない。どのような基準で委員が選定されたのか。

②平河町は住宅の方向で決まったのか、四番町が片付かない限り仮住宅には着手しない話だった。前回説明会からどうなったか。地下鉄の件は賛成だが、国道上の既存出入口が廃止にならないよう、仮住宅の出入口との併設にしてほしい。ビル風の影響はあるので12階になると大変である。

③区議会への陳情の回答である「地域の意見を聞くこと」と協議会は違う。「地元」住民の意見聴取をすべきである。国道246号より奥まった建物は高さを下げるべきである。隣と比較して低いからよいというものではない。四番町の住民は経済的、肉体的にも移転は困難で、半分以上が移転に反対したという署名がある。

④プロセスに問題がある。協議会ではなく住民に意見を聞くべきである。

⑤協議会の開催を広く地域に周知してほしい。

⑥四番町アパート居住者の意見として、現状の生活には不便はなく、建替も仮住宅も必要ないと考えている。